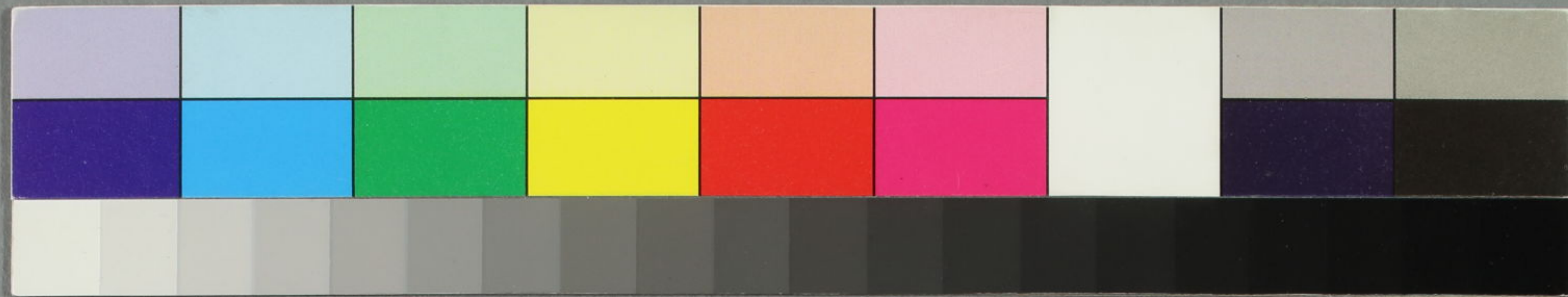


漢書卷之八

特別
千 13
3849
37 (1)





413
3849
37-1

37

後者云云中 蕨亦定

大坂之巻同録

雲くも入いるまよしのの 湍たぎ流りふらぬ

葉はのの保たもつとぬ 汝な干かけぬ家や晴はる

翁おきな板いたのの古ふるくぬ 登のぼりの松まつ

糞くそ臭におとのぬらぬ 蕨わづ亦また定ちやう

蕨亦定わづまたちやう

言
大



席に没人ハ

一嘉後内うしろの内一長徳ながとくいや一宮みや

一藤の姫ふじのひめいそ 小玉こたまのあま

一お乳の人おちのひとおしり

一ころもこころもこころこころり

こころこころり

波老のすざなみのすざ あまあま

とやとやららのの大勢おほし

一五三ごさん屋や志しのの

大坂道場おおさかみちば三喜さんき越後えちご者もの同録

各代おのれ大坂おおさか志しのの中山なかつま来き助すけ
各代おのれ志しのの三さん株かぶ他人たにん

▲立役之部

極上吉 中村なかつむら吉きち左ひだり第だいいち門かど 三株さんかぶ社やしろ

上上吉 后川ごがわ八やち花はな 日ひ社やしろ

上上吉 坂東さかとう満まん花はな 中なかつま社やしろ

上上吉 市野川いちのがわ花はな 日ひ社やしろ

上上吉 嵐あらし右みぎ三さん市いち 三株さんかぶ社やしろ

上上吉 富士松ふじのまつ三さん市いち 日ひ社やしろ

上上吉 中山なかつま来き助すけ 日ひ社やしろ

上上 市野川いちのがわ門かど三さん市いち 中なかつま社やしろ

上者うしや井い左ひだり市いち 中なかつま上うへ中なかつま村むら左ひだり市いち 三さん

上上村うへうへむら左ひだり市いち 三さん上うへ三さん株かぶ十じゅう又また市いち 三さん

上中村うへなかつまむら左ひだり市いち 中なかつま上うへ三さん喜き花はな右みぎ市いち 中なかつま

上上川うへうへがわ志しのの三さん上うへ嵐あらし助すけ十じゅう市いち 中なかつま

上上吉 坂東さかとう豊ゆたか三さん市いち 中なかつま社やしろ

上上吉 實まこと志しのの三さん市いち 中なかつま社やしろ

▲実志之部

上上吉 三株大五帝 九斗
上上吉 桐崎儀丸末門 中山
上上吉 深川代芸湯 三株

▲ 歌波之部

上上吉 坂東岩又帝 三株
上上吉 嵐七又帝 中
上上吉 笠谷又帝 日
上上 三株他人 日

上三 三上中村九 三
上三 三上三株長又帝 三
上三 三上中川又帝 三
上三 三上中村後七 三
上三 三上三上名野川又帝 三
上三 三上中山和十帝中上 三
上三 三上三上又帝 三
上三 三上三上又帝 三

▲ 花車形之部

上上吉 天満屋久七 三株
上上 山科新又帝 日

▲ 養女形之部

上上吉 中村富十帝 三株
上上吉 沢村國右帝 中山
上上吉 姉川大右 三株
上上 加茂川野沙 日
上上 嵐平介治 中
上上 花桐豊雲 日
上上 中村千彦 三
上上 山下半右史 日
上上 姉川菊八 中
上 山下八百彦 三

▲ 中山姓又子之部

一 松尾虎春 一 中村景次帝 三
一 芳沢ハハ 一 三上三上 三
一 松金助 一 三上三上 三
一 養井 一 中村長又帝 三
▲ 三上三上 三

一、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
二、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
三、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
四、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
五、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
六、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
七、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
八、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
九、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
十、**上吉** 田 坂川 八尾 舞

一、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
二、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
三、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
四、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
五、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
六、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
七、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
八、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
九、**上吉** 田 坂川 八尾 舞
十、**上吉** 田 坂川 八尾 舞

と藤青のうすまのたてをうづりてのりておぼしめし
此のたてのりておぼしめし

上上 ⑧ 市村の二糸一中央

既曰公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て

上上吉 今坂の糸二糸一中央

既曰公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て

▲実色之部

上上吉 ⑨ 二林大又糸一糸

既曰公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て

既曰公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て

既曰公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て

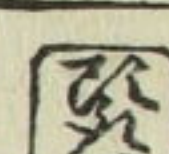


既曰公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て

既曰公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て

既曰公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て
守りて公室の令を以て授けしを以て

▲丸車形之部


上下吉  又満在久七 二折九


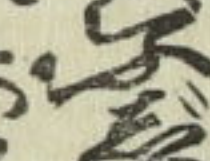


 以高き地味を以て平地等の様子
切巻の巻を以て巻  巻を以て巻
厚巻を以て巻  中巻を以て巻

上上  七科新入部 日九

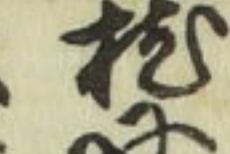

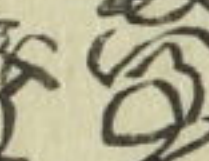
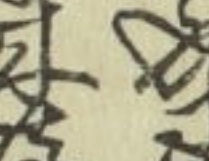
 高き方の中巻を以て巻を以て巻
二段行の巻を以て巻  巻を以て巻

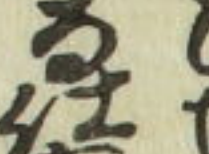


▲若女形之部



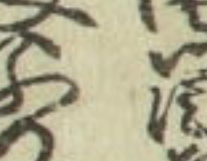
擧上吉  中村高十部 二折九

 高き方の中巻を以て巻を以て巻
中巻を以て巻  巻を以て巻
高巻を以て巻  中巻を以て巻
巻を以て巻  巻を以て巻

く中巻を以て巻  高き方の中巻を以て巻

松子懐  平地味を以て巻を以て巻
巻を以て巻  巻を以て巻
巻を以て巻  巻を以て巻
巻を以て巻  巻を以て巻

巻を以て巻  巻を以て巻
巻を以て巻  巻を以て巻
巻を以て巻  巻を以て巻

切巻を以て巻  巻を以て巻
巻を以て巻  巻を以て巻
巻を以て巻  巻を以て巻

上上吉	中村次郎三	筑
上上吉	嵐 弘吉門	日
上上吉	嵐 清 彦	筑
上上吉	松平次郎三	筑
上上吉	嵐 万 彦	筑
上上吉	尾川 了 彦	筑
上上吉	尾川 时 彦	筑
上上吉	中山 辰十郎	筑
上上吉	中村 新 彦	筑
上上吉	山中 小八	筑
上上吉	市川 长之助	筑

△ 是乃形之形
 水本 吉三郎 筑
 四上吉 川 榮三郎 筑
 六上吉 嵐 三 彦 筑
 上上吉 尾上 小三郎 筑
 上上吉 中村 五 郎 筑

之卯之級後院中八略校一甲一

上上吉	山下 奇川	日
上上吉	五川 富 彦	筑
上上吉	嵐 雲 野	日
上上吉	市川 綱 彦	筑
上上吉	岩井 八十七	筑
上上吉	嵐 國 次郎	筑
上上吉	藤塚 八重彦	筑
上上吉	嵐 千 彦	筑
上上吉	依野川 辰 松	筑
上上吉	市川 万 彦	筑
上上吉	尾上 金 彦	筑
上上吉	三津川 金 彦	筑
上上吉	市山 辰三郎	日
上上吉	萩野 千 彦	筑
上上吉	中村 小 彦	筑
上上吉	市川 新 彦	筑

明和五年
子三月五日

東也町
八文字
八文字

